

原料費調整制度に基づく2023年4月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1 m³あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による30円/m³(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2022年11月から2023年1月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
3ヵ月の平均原料価格			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				

○2023年4月 検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1ヵ月のご使用量	基本料金 (1ヵ月あたり)	調整単位料金(1 m ³ あたり)	
			2023年3月検針分	2023年4月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	786.50 円	238.86 円	231.36 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	891.00 円	229.39 円	221.89 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,961.30 円	220.07 円	212.57 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2022年11月から2023年1月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	132,510 円/トン (10円未満四捨五入)
2022年11月から2023年1月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	88,150 円/トン (10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 132,510 円/トン × 0.9748 + 88,150 円/トン × 0.0404	132,730 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	132,730 円 - 54,690 円 = <u>78,000 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1 m ³ あたりの価格変動額	0.075 円
ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1 m³あたり)*	-30 円(税込)
2023年4月分検針の調整額(1 m ³ あたり)	78,000 円 × 0.075 円 ÷ 100 × 1.10 = 64.35 円 (小数点第3位切り捨て) 64.35 円 - 30 円 = 34.35 円(税込)
2023年3月分検針の調整額(1 m ³ あたり)	41.85 円(税込)
(4月分)対(3月分)増減(1 m ³ あたり)	-7.5 円(税込)

2023年4月分の単位料金を1 m³あたり +34.35 円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1ヵ月のご使用量	2023年3月分料金	2023年4月分料金	影響額
20 m ³	5,478 円	5,328 円	-150 円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)